



あやめ



in 「一期一会」

文責：生徒指導主事 櫻本直弘

富士五湖満喫…。1年生宿泊学習

本来であれば5月14日(水)15日(木)に行うはずだった1年生の「宿泊学習」ですが、インフルエンザの感染拡大の影響で延期され、6月11日(水)12日(木)に実施されました。6月特有の長雨の影響も心配されましたが、無事2日間の活動を終えることができました。

1日目の午前中は、西湖畔にある『いやしの里・根場』で「ものづくり体験」を行いました。日本の原風景を再現した茅葺き屋根の民家の中で、各自思い思いの作品を完成させました。

午後は、「西湖野鳥の森公園」をスタート地点にゴールの「鳴沢氷穴」まで、青木ヶ原樹海の中の遊歩道約6kmを、ネイチャーガイドとともに樹海散策をしました。溶岩樹形をみたり、洞穴の中をのぞいたり、野鳥の声に耳を傾けたりと、大自然を満喫しながらのウォーキングは非常に貴重な経験となりました。

夜の活動は、屋外での「キャンプファイヤー」を予定していましたが、屋内での「キャンドルサービス」に切り替えました。急遽の内容変更ではありましたが、生徒たちの努力と工夫、さらには内藤教頭先生扮する「火の神」の迫真の演技等により楽しくも厳かなセレモニーが展開されました。火の神の前で誓った各クラスの決意が今後の生活の中に生かされることを期待します。

翌日は富士山五合目を訪れ、霊峰富士を体で感じ、午後からは富士湧水の里水族館と富士山世界遺産センターで富士五湖周辺の自然や歴史を学習しました。

盛りだくさんの内容で「充実の2日間」だったと思いますが、今回の宿泊学習は、仲間づくりという点から考えても、とても良い機会になったと思います。この2日間で体験・学習したことを大事にし、クラスや学年で築き上げた団結・絆を今後の学校生活の中でさらに深めて欲しいと思います。





紫翠祭に向けての動きが始まりました

今年度、櫛形中学校は「**創立70周年**」を迎えました。そんな記念すべき年に行われる今回の学園祭（紫翠祭）…。いよいよその計画が動き出しました。（ちなみに学園祭を「紫翠祭」という名称で行うようになってから今回が**39回目**となります。）

今年度の紫翠祭は、9月19日（木）に文化の部、20日（土）に体育の部が予定されています。昨年度同様「暑さ」も心配されますが、天候不良等で延期されることなく、予定通り実施できることを今から祈りたいと思います。

そんな紫翠祭に関して、先日生徒会本部から今年度のスローガンが発表されました。

「晴瞬（せいしゅん）」

～笑顔で進め70の歴史～

晴れやかな笑顔あふれる活動を進め、かけがえのないこの瞬間を大事にできる紫翠祭を全校生徒の手で創り上げましょう。